

# 桐生西ロータリークラブ週報



2008-09年度RIテーマ

## 李東建 (Dong Kurn Lee) RI会長 夢をかたちに

例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi  
 会長 田崎 武夫 クラブ会報・雑誌委員長 片貝 良一  
 幹事 栗原 幸三 委員 星野 幸男

No. 1720

2009年4月17日発行

### 第1824例会 (2009・4・10) 報告 (禁煙例会)

- |             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 1. 点 鐘      | 6. 食 事                         |
| 2. ロータリーソング | 7. 委員会報告                       |
| 3. 来訪者紹介    | 8. 卓 話 第2分区-Aポリオ・プラス専任講師 北川泰久君 |
| 4. 会長報告     | 9. 点 鐘                         |
| 5. 幹事報告     | 10. ロータリーソング 例会終了後定例理事会開催      |

#### ◆ビジター

第2分区-Aポリオ・プラス専任講師(桐生中央RC) 北川泰久君

#### ◆会長報告 田崎会長

- 先週、栃尾RC様から9名をお迎え致しました。皆様にはご協力頂き、ありがとうございました。
- ロータリーセンター委員の元RI理事の板橋敏雄様より、ロータリー世界平和フェロシップの申請者募集の依頼が届きました。これは、平和問題及び紛争解決のエキスパートとして活躍できるよう、世界の6つの大学にロータリー・センターを設け、大学院で修士の学位を取得させる制度です。その内の1校は日本の国際基督教大学も含まれます。修士号を取得した方は、国連難民高等弁務官事務所やJICAなどの要職に就かれて活躍されているそうです。

#### ◆幹事報告 栗原幹事

- ◇本日は禁煙例会です。
- ◇例会終了後、理事会を1F洋間にて行います。
- ◇ロータリーの友4月号を配布致しました。
- ◇高津戸荘観桜会の記事が桐生タイムス紙に掲載されました。
- ◇下記のものが届いております。
  - ・第18回2840地区茶の湯研修会のご案内(各テーブルに配布)
  - ・第2630地区パストガバナー竹腰兼寿様よりお礼状
  - ・ロータリー・ワールド2009年4月号
  - ・第19回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のご案内
  - ・オクトンカタログ2009 3冊

#### ◇例会変更のお知らせ

- 渋川RC 4/23,4/30(休) 沼田RC 5/5(休)、5/12
- 渋川みどりRC 4/14,4/21,4/28,5/5(休)、5/20
- 富岡RC 5/6(休)、5/20,5/27 富岡かぶらRC 5/6(休)、5/26

#### ◇クラブ会報が到着しています

- 桐生RC 4/6 足利RC 3/13,3/27

#### ◆食事メニュー

1094キロカロリー 鰯の揚げおろしサラダ添え、筑前煮、蓬麵、白飯、

香の物、本日のデザート

#### ◆委員会報告

##### □出席委員会

稲森委員長

総数53名(免除者8名の内6名出席の為2名を除く)  
 出席率対象者51名、出席率対象者出席人数41名  
 欠席者10名(内前メイク3名) 出席率86.27%  
 前々例会修正出席率92.00% (最終欠席者4名)

##### □ニコニコBOX委員会

津久井委員

貴重なお時間を頂きありがとうございます。卓話をさせていただきます。ポリオ・プラス専任講師・北川泰久君  
 北川先生卓話ありがとうございます

田崎君、栗原君、稲森君、新木君  
 栃尾RCの皆様との交流では大変お世話になりました。家住君  
 天皇陛下・美智子妃ご成婚50周年を祝します。私も38  
 年になります 江原君  
 娘が社会人になりました 小林君

##### □ロータリー財団委員会

天沼委員長

北川先生卓話ありがとうございます 稲森君  
 6月4～7日のタイ国チェンマイ訪問参加して下さい 家住君  
 片貝先生取材ありがとうございます 江原君  
 栃尾RC歓迎ご協力ありがとうございました 栗原君  
 花見でイスラム教徒と一緒にになりました。彼等は酒を  
 飲んではいけないそうです 田崎君

##### □米山奨学委員会

霜村委員

北川先生卓話ありがとうございます  
 稲森君、石川君、乾君  
 4月18日群大留学生交流会お世話になります。家住君  
 入会から2ヶ月経ちます小林恵司君慣れてきましたか。栗原君  
 桜、さくら、サクラ 田崎君

#### 《次例会予告》

4月24日(金) 早期健康診断  
 AM7:00～、桐生メディカルセンター

卓 話



第2分区-A  
ポリオ・プラス専任講師

北川 泰久 君  
(桐生中央RC・内科医)

「ポリオ根絶への道」  
(ポリオ・プラス)

本日の卓話は、松倉紘洋ガバナーの強い希望に基づき、各分区毎に選任された講師が各クラブに出前講座として赴き、ポリオ根絶の現状とその困難さを訴えることが目的です。

すなわち、1985年に国際ロータリーがロータリー創始80周年にあたって発表した「ポリオ・プラス」計画の内容を正確に伝達することを目的としております。これから約30分間、ガバナー事務所での研修会の内容を中心にお話したいと思います。

ポリオ(急性灰白髄炎)は、患者や感染者の糞便、汚染された飲食物を通して、ポリオウイルスが侵入し、その中枢神経感染により、典型的には四肢の急性弛緩性麻痺を来す疾患で、かつて小児に多発したところから「小児麻痺」と呼ばれています。ウイルスに感染したヒトはほとんど症状がでないか単なる感冒症状で済みますが、ごく一部(0.1%)の感染者が麻痺症状を来し、その半分が運動麻痺の後遺症を一生背負っていかねばなりません。すなわち、ポリオの後遺症に苦しんでいるヒトの周りには、二千人の感染者がいるという現実を重く受け止める必要があります。治療法に有効なものはなく、唯一ワクチンによる予防が最善の方法となります。ポリオワクチンの主流は、生ワクチンの経口投与であり、他の予防接種と比較して簡単で、大勢のヒトに短時間で投与できる利点があります。

ポリオの歴史は古く、紀元前14世紀のエジプトから記録があり、20世紀に入って世界各地で流行が見られました。特に1952年のアメリカでの流行は最悪で、約5万8千人の麻痺患者が発生しました。しかし、ワクチン開発が成功してWHOを中心にポリオ根絶計画が実行に移され、2009年3月現在では流行国は4カ国、世界の患者数は151人まで激減しています。国際ロータリー(RI)は、1979年フィリピンにて3-Hプログラム最初のプロジェクトとして5年計画で600万人の子供たちにポリオの予防接種を行う活動を開始しました。1985年ロータリー80周年に際しポリオワクチン接種のため1億2千万ドルの募金活動を声明し、1986年ポリオ・プラス計画を発表して実行に移しました。

「ポリオ・プラス」とは、ポリオの他に、麻疹・ジフテリア・破傷風・百日咳・結核を根絶するための予防接種を実施する計画であり、これは1985年国連が40周年記念事業として発表した、ユニセフの「予防接種普及事業(EPI: Expanded Programme of Immunization)」推進決議に賛同したものであります。ポリオ・プラスはRIの特別プログラムであり、その達成まで他のいかなるプログラムより優先されます。ポリオ・プラスには1)ワクチン投与、2)支援要請、そして3)募金活動の3つの重要項目があります。ポリオ・プラス・プログラム

には開始から現在までに百万人以上の会員が協力して20億人以上の子供たちに予防接種を施行してきました。世界ポリオ根絶推進計画パートナーであるWHO、ユニセフそしてCDC(米国疾患対策センター)と協力し、ポリオ罹患者を激減することに成功しました。

WHOのポリオ根絶作戦は、1)定期的ワクチン投与、2)全国一斉投与(NIDs)、3)急性弛緩性麻痺調査、そして4)掃討作戦(Mop-up)であります。RIで実際に活動を展開するには、ポリオ・プラス・パートナーの存在が不可欠です。1986年RIは「ポリオ・プラス計画」と共にポリオ・プラス・パートナー計画を発表しました。ポリオ・プラスはワクチン購入のみに使われますが、ワクチンだけでは投与が遂行できず、広報活動、帽子、エブロン、食事代等の費用が必要になります。ポリオ・プラス・パートナーはポリオ根絶推進計画を補足的に支援し、1)NIDsの一般社会動員、2)急性弛緩性麻痺(AFP)の監視、3)NIDに際し、ワクチンを運ぶためのコールド・チェーンとして、必要な手段を提供しています。そして、子供たちを接種現場に惹きつけるための手段(風船、御褒美の飴など)に腐心しています。しかし、ワクチンの山間地や僻地への輸送は困難を極め、紛争地域では双方の代表者を説得してポリオワクチン投与のため一時休戦にしたり、宗教上などの理由からワクチン投与を拒む人々を説得したり、ロータリアンはさまざまな活動を行なってきております。ポリオ根絶成功の道はWHOをはじめ多くの主要パートナーの協力を結集しなければ達成できないものであり、また新たな協力者がポリオ根絶まで支援を誓約し実行することが必要です。

RIは世界ポリオ根絶推進計画(GPEI)に基づき、2007年11月から1億ドルを投入しております。これは同月ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からポリオ根絶のため同額の補助金を受領したことをうけて行っており、ロータリアンの周知の事実です。各クラブ会員の皆様におかれても一人100ドルの寄付をロータリー財団から要請されています。更にビル・ゲイツ氏は、ロータリーの募金活動による成果を挙げ、ポリオ根絶のためのひたむきな努力を高く評価して、1月21日のロータリー世界会議において、ゲイツ財団が追加の2億5,500万ドルをロータリーに寄贈することを発表しました。この増額に應えるため、ロータリーもまた、2012年6月末までに更に1億ドルを追加で上乗せすることを承諾し、ロータリーとゲイツ財団による協同の資金投入額は、合計5億5,500万ドルを上回ることとなりました。

子供たちにとって最も感染の危険性が高いポリオを世界から完全に根絶するためには、更なる資金投入が是が非でも必要です。世界ポリオ根絶推進計画は過去20年間にポリオの感染者数を99%も減らしたものの、未だにアフガニスタン、インド、パキスタン、ナイジェリアには根強く野生型ポリオが残っており、これらの国から流入したウイルスにより他の発展途上国でも感染者が出ています。この活動は会員各位の引き続きのご支援が極めて重要です。RIはポリオのいない世界を目指し努力を惜しまない所存です。ポリオ根絶のため、会員各位のなお一層のご協力をお願い申し上げます。

紙面の都合上、理事会報告は次号に掲載します  
また、『メンバーは今!!』はお休みさせていただきます